

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	あさけプラザ運営協議会（四日市市あさけプラザ内）			代表者名	松永義武
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	四日市市あさけプラザ	連絡先電話番号	059-363-0123
担当者役職	副参事	担当者氏名	清水智裕	連絡先E-mail	
住所	510-8028 三重県四日市市下之宮町296番地1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	四日市市	連絡先部署	四日市市あさけプラザ		
担当者氏名	清水智裕	連絡先電話番号	059-363-0123	連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	「デジタル生活、はじめの一步」
概要	地域在住の身近なアドバイザーやYoutuberからDXやAIの技術を実体験することで、地域住民のDX活用へのモチベーションを高める。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） AI活用 ネットワークインフラ（Wi-Fi/LPWA/光ネットワーク）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年10月13日	講演(実地)	12時30分	16時00分	15
				活動時間（分）	195
2-2. 派遣場所	会場名	あさけプラザ		最寄駅	近鉄富田
	所在地	四日市市下之宮町296番地1		最寄駅からの交通手段	自家用車

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	荒木 克彦
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	豊富な知見にもとづく話題の豊富さと、分かりやすい話し方、ワークショップでの円滑なファシリテイトなど受講者にも好評であった。
アドバイザーへの要望事項	特にない

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	44人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	2	41	1
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果				
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）		地域住民の中にはDXやAIなどデジタル技術への関心を持つ方も一定数存在しているが、身近にロールモデルとなる人材や、実際にデジタル技術に触れ、学び合う機会が乏しいのが現状である。そのため、DXを自分の生活や地域活動にどう活かせるかを具体的にイメージできず、最初の一步を踏み出せない方が多く見受けられる。		
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）		受講者が自らの関心分野を出発点として、3DプリンタやYouTube、AIなどのデジタル技術について具体的な活用イメージを持ち、日常生活の中でデジタル技術を身近に感じられるようになることを目指す。		

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	生成AIの入門講座としてGoogle AI Studioを使用した絵本づくりの講座・ワークショップを開催 ワークショップでは、生成AIのプロンプトの参考例として登場人物のテーマカードとストーリーの展開のための起承転結カードを用意していただくことにより、プロンプトの入力を定型化することで絵本づくりを円滑に進行することができた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	中高齢者を中心とする参加者が、生成AIへの認知度を高め「自分でもできる!」という感触を得るとともに、絵本づくりを通じたワークショップで、楽しく語り合い教えあうことにより、心が伝わる「あたたかいデジタル化」について、明るい展望をもってもらうことができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	④人材育成のカリキュラムやツールを策定できた
	多人数での初心者向けの講座のスタイルについて、受講者からも好評で、今後の講座の展開にむけてのモデルとなった。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	ワークショップや使用する端末について参加者が協力しあうことを前提にした講座であったが、参加者の一部には共同作業が苦手で、大声で講師に手助けを求める者もあった。 講座の案内にあたっては、参加者の協力を前提としていることを明確しておくべきであった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	別添アンケート結果のとおり	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
4-4. 事業の最終的な目指す姿	講座の継続的な実施により受講者層が拡大し、地域や仲間との多様な交流を通じて、デジタル技術の体験に基づく知見が地域全体に広がる。これにより、生活の質の向上や地域課題の解決に向けたDX活用の基盤が地域社会に根付くことを最終的な目標とする。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

